

青少年応援プロジェクト委員会 事業報告

委員長 清水 隆行

2014年度、青少年応援プロジェクト委員会では、浦安の子どもたちに向けて、目標を達成するにはその過程が大切であること、そして自らの力で解決策を導き出す力やチャレンジ精神をもって行動する「生きる力」を身に付けてもらうために2つの事業を開催致しました。

5月第一例会「第26回わんぱく相撲浦安場所～ベストをつくそう！目標に向かって！～」では、浦安市内238名の小学生に参加していただきました。今年の趣向としては、明治大学相撲部の方々を会場に招いて、子どもたちに相撲の礼節を伝えていただき、本格的な稽古をつけてもらう展開にいたしました。子どもたちが本格的な稽古の「本物体験」を経験するその姿は真剣そのもので、そのなかでも相撲部の方に向かっていくぶつかり稽古の時の子どもたちの表情はとても印象的でした。事業の中で細かい反省点は多々ありましたが、子どもたちに相撲を通して目標に向かって努力することの大切さ、勝つこと負けることへのこだわり、相手に対する思いやりなどを学ぶことができた事業を開催することができました。

2つの目の事業は、本来ならば8月例会での開催でしたが、事業構築のうでスケジュール管理ができず、10月その他事業としての開催になってしまい、メンバーの皆様には大変ご迷惑をおかけしました。10月その他事業としてロボットを題材にし、サッカーをするロボットの製作に携わっている千葉工業大学の林原教授と生徒の方々から、市民まつりに参加していた子どもたちに向けて事業を開催致しました。明確な目標を持って日々諦めないで努力を続けて、過程を大切にしながら取り組むことで、ロボカップという世界大会で優勝することができた時のエピソードや日々の心がけていることなどを、千葉工業大学の方々より講演と実演を用いて、子どもたちに対して伝えていただくことができました。子どもたちがロボット技術の最先端を肌で感じて、講演と実演から、目標を持ち過程を大切にしながら取り組むことの重要性を学ぶことで、自分自身の目標や夢にも反映することのできる事業を開催することができました。

最後に委員長の力不足やスケジュール管理の甘さにより、メンバー皆様には大変ご迷惑をお掛けしましたこと深くお詫び申し上げます。そんな状況の中でもメンバー皆様が最後まで諦めないでいただき、本年の事業を開催することができたこと心より感謝申し上げます。委員長の私にとっても勉強となる一年になりました。一年間ご協力いただき本当にありがとうございました。